

青い波北陽台



新たな価値の創出に向けて

教頭 川原 智司

朝夕に肌寒さが感じられるとともに、彼岸花が真っ青な秋晴れに映える清々しい時節となりました。気が付けば、令和2年度の折り返しに差し掛かり、10月初旬の定期試験が終わると、学業では全国規模の実力試験及び模試試験が、部活動では新人体育大会が相次いで行われ、それぞれにおける自身の立ち位置や特性を定点観測する機会が訪れます。加えて、大学入試においては、本年度から導入された総合型選抜が、この時期から随時実施されることになっています。

言うまでもありませんが、高校生活を充実させていくためには、目的意識を掲げて毎日を丁寧に過ごしていくことが欠かせません。さらに、その営みが受動的ではなく、主体的な意志や判断に基づき、適切になされていくことが望まれます。話は変わりますが、我が国においては平成20年代後半からインバウンド（外国人が日本を訪れる旅行）が年々増加したことも加わって、観光地は大いに賑わいを見せました。ところが、本年に入り、国内においても人々の交流が制限されたこともあり、それぞれの地域においてその強みや独自性が見直されるとともに、新たな価値の創出が図られていると耳にします。人としての在り方や生き方においても、1年前には想像できなかった変容を遂げる世の中の実情を踏まえながら、自分の現状や今後の生き方を「可視化」し、必要がある時にすぐに理解できる状態に表現していくことが求められていると考えます。

しかし、自身の特性を分析し、把握するに留まっては、物事を前に進めることはできません。古代ギリシアに出て学校（リュケイオン）を開き、教育にも力を注いだ哲学者のアリストテレスは、「人は習慣によってつくられる。優れた結果は一時的な行動ではなく、習慣から生まれる。」とし、目標を設定し、その到達に向けて努力することの大切さを説いています。また、明治初期から昭和初期にかけて活躍した実業家で、現在の一橋大学の設立にも関わり、「日本資本主義の父」と称され、数年後に発行される1万円札の肖像に選ばれた渋沢栄一は、「夢なき者は理想なし、理想なき者は信念なし、信念なき者は計画なし、計画なき者は実行なし、実行なき者は成果なし、成果なき者は幸福なし、ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず。」とし、できるだけ多くの人に多くの幸福を与えるよう行動することが人としての義務であるとしています。

古代中国に出た孔子は、「学びて時にこれを習う。また説（よろこ）ばしからずや。朋（とも）遠方より来たるあり。また楽しからずや。」という教訓をのこしています。「目に見えない敵」との闘いが続き、先々の見通しが立たない時勢ではありますが、志を高く掲げ、またそれを同じくする友と学校生活において日々切磋琢磨していく中で、社会における自分自身の客観視して度量を広げ教養を高めながら、次代を担う礎が築かれていくことを期待します。

体育大会「時代を創る 若き風」

～今、私たちにできること～

9月11日（金）、今年の体育大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客で時間を短縮して開催しました。各競技で生徒は各班の優勝に向けて一生懸命に頑張りました。また、今年に応援合戦を3年生だけで行い、1、2年生全員の前で披露する形で実施しました。放課後等の限られた時間の中での練習ではありましたが、完成度の高い演技を披露しました。総合優勝は3班（黄：3年3・6組、2年3・5組、1年1・7組）で、応援合戦は1班（赤：3年1・5組）が栄冠を勝ち取りました。



今回の体育大会は、新型コロナウイルスの影響を受け、例年より時間や規模を縮小しての開催となりましたが、白熱した競技や、各班が思考を凝らした応援合戦が繰り広げられており、北陽台生の団結力を感じました。

～体育大会実行委員長 3年7組 大町 尚生～

北陽台生全員の笑顔がはじけた最高の行事になりました。特に黄組では、応援団長の甲斐君（3年6組）を中心に個性もはじけた人たちが多く集まり、結果的に優勝することができました。とても愉快で爽快で痛快的な体育大会でした。

～黄組班長 3年3組 森 拓海～

練習のときは大変だったけど、本番では全員で楽しくできて、とても達成感がありました。赤組全体もにぎやかで、とても面白い回でした。支えてくださりありがとうございました。

～赤組応援団長 3年5組 稲本 健太～

2年理数科プログラム 長崎県立大学研修

2年理数科の生徒は、9月17日（木）の午後に長崎県立大学シーボルト校で研修を行いました。生徒は以下のテーマから1つを選択し、体験活動を通じて学びました。

- ① 食品の着色に関する実験
- ② 全員調べなくていいの？

～BB弾でサンプリング実験～

- ③ 卵のゲル化とテクスチャー



各種大会の成績

◇第43回全国高等学校選抜テニス競技長崎県大会

女子団体 … **優勝 (初優勝)**



男子団体 … **準優勝**



※男女ともに、11/13~16に福岡県で開催の全国選抜九州地区大会の出場権獲得!

◇長崎県高等学校新人体育大会 陸上競技

男子 総合 … **3位 (29点)**

個人 走高跳 1位 岩坪 立 (1年3組)
走幅跳 1位 藤家 尚平 (1年2組)
三段跳 3位 藤家 尚平 (1年2組)
8種混成 2位 相川 騎良 (2年5組)

女子 総合 … **7位 (20点)**

個人 100mハードル 1位 部原 ひな (2年2組)

※以上4選手は、10/16~18に長崎県で開催の全九州高校新人大会の出場権獲得!

10月の主な行事予定

- 1日 (木) ~ 6日 (火) 2学期中間試験 (1・2年)
学年末試験 (3年)
- 2日 (金) 学年PTA・学級懇談会 (2・3年)
- 5日 (月) 学年PTA・学級懇談会 (1年)
- 8日 (木) 教育実習開始 (~21日)
- 10日 (土) ~ 11日 (日) 校外記述模試 (3年)
- 11日 (日) 英検 (2級、準2級)
- 15日 (木) 防災避難訓練
- 17日 (土) オープン模試 (3年)
- 20日 (火) 歯科検診 (3年)
- 22日 (木) 歯科検診 (2年)
- 23日 (金) 歯科検診 (1年)
- 24日 (土) オープン模試 (3年)
- 26日 (月) 大学の先生による特別講義 (2年)
長崎っ子を見つめる教育週間 高校生さわやか運動
学校公開 (~30日)
- 31日 (土) 校外記述模試 (1・2年) 校外マーク模試 (3年)



学年主任より

1学年主任 下村 かおり 「体育大会を終えて」

今年の体育大会は平日の半日開催、しかも無観客という前例のない大会になりましたが、一人ひとりが自分の競技を真剣に楽しんでいる様子がとても印象に残りました。今年は学年縦割の大所帯を3年生が統率する機会が少なく、また、1年生にとっては3年生が何かを創り上げていく過程に身を置くことができなかつたのが大変残念です。しかし、逆境においても常に良化を求める姿勢、与えられた環境を十二分に活用する工夫など、学ぶことも多かつたように思います。

高校に入学して約半年が過ぎました。令和2年度もいよいよ後半戦に入ります。初心に帰り、気分一新、学習・部活動・学校行事に邁進してほしいと思います。

2学年主任 守 慶直 「高校生活折り返し地点」

年度当初から忙しい日々が続き、今年度もあっという間に半年が過ぎました。2年生の皆さんにとってはちょうど高校生活の折り返し地点です。ここで改めて自分の生活や学習について見つめ直してみましょう。昨年4月のこの欄に、『先の人生を考えて新たな目的を見据え、それを実現するためのいくつかの目標を定めて日々努力を積み重ねよう』ということを書かせてもらいました。入学から1年半が経ち、ここ最近の自分を振り返ってみてどうですか。学校行事の中止による授業ばかりの日々に疲れが溜まり、つい気を抜いてしまっている人もいるように見受けられます。しかし、目標もなくダラダラ過ごしていても大学入試や高校卒業は近づいてきます。まずは10月1日から始まる2学期中間試験に全力を注ぎ、その後の学校生活に勢いをつけましょう。

3学年主任 林 圭介 「学年末試験迫る」

君たちの高校生活最後の定期試験、学年末試験が近づいています。準備の方はどうでしょうか。この試験が終了すれば、後は大学入試に向けて全力で進むだけですが、ひとまずは学年末試験で有終の美を飾ってください。

さて先日、「大学入学共通テスト」の志願票を書き、検定料の払い込みをしてもらいました。大学入試が徐々に迫っていることが肌で実感できたのではないかと思います。例年とは違い、今年度は「共通テスト100日前」の秋のレクレーションが中止となりました。本来であれば、この行事を経ることで、再度気持ちの整理をし、受験への意識を高める機会とするところでしたが、それもできません。みなさん一人ひとりの気持ちの持ちようが、大事になってくると思います。

今後は毎週のように模擬試験が続きます。毎回の模試を大事にし、各教科の準備を確実に言い、できなかつた問題の復習を欠かさずにやっていきましょう。目の前のやるべきことを大切に、地に足が着いた学習を続けてください。